

上部消化管内視鏡施行数と 除菌療法の現状報告

調査期間

平成16年4月～平成17年3月

外来

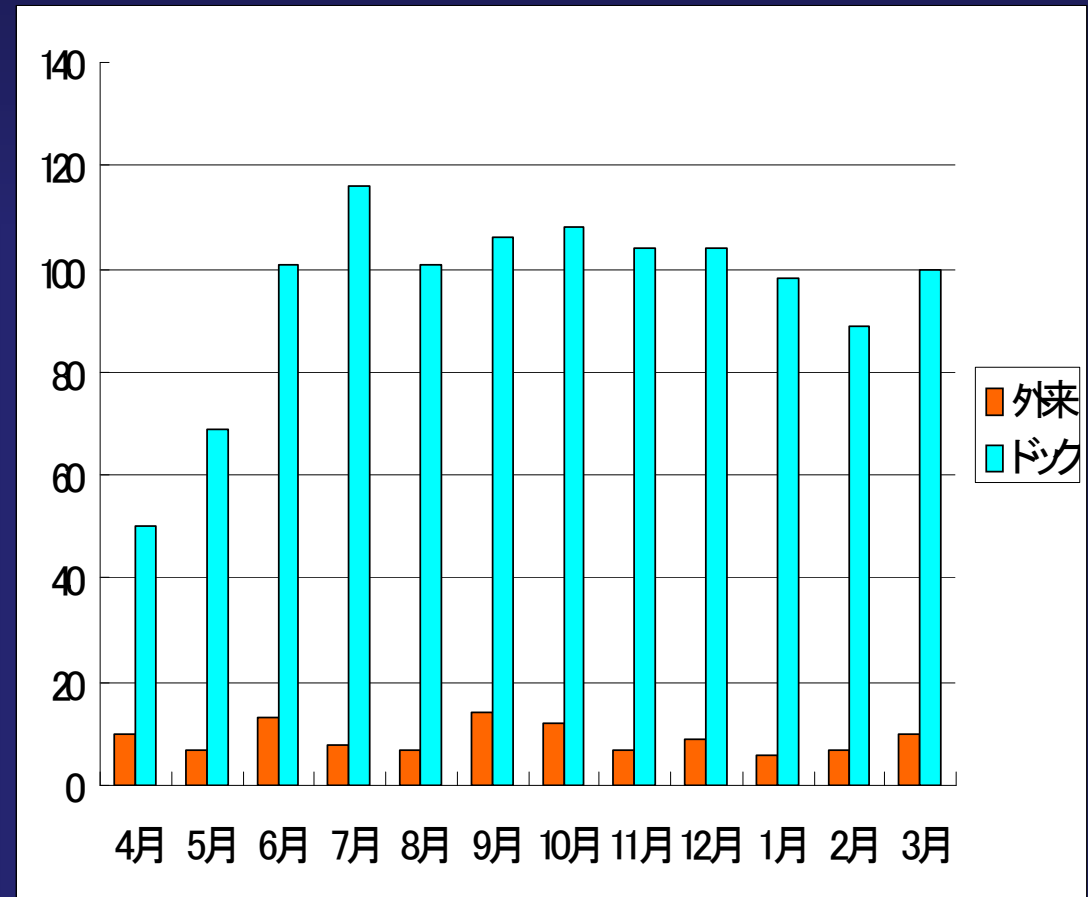
八箇・宮崎・久末

はじめに

近年、ヘリコバクター・ピロリ菌と胃・十二指腸潰瘍との関連が明らかにされ、患者さんのピロリ菌感染率は約80%とされている。 当院の年齢別・疾患別のピロリ菌感染者及び除菌療法の現状について報告する。

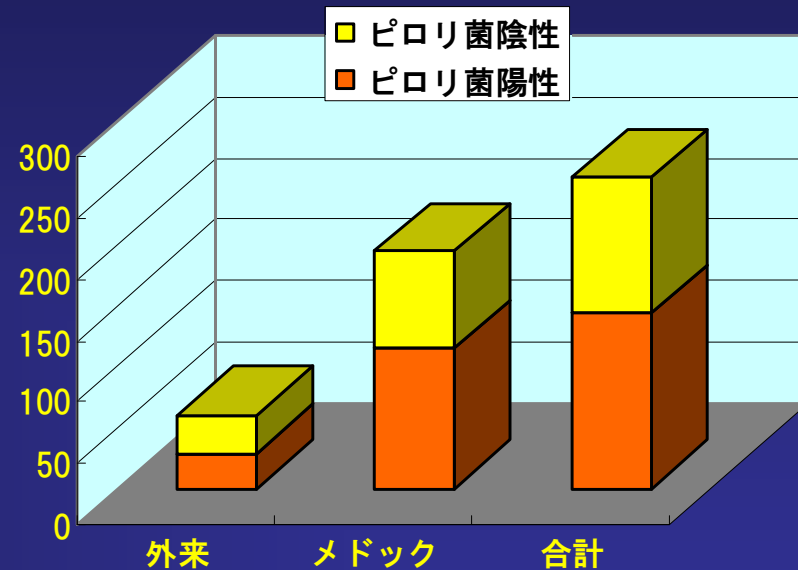
外来・メドックにおける 上部消化管内視鏡施行数

	外来	メドック	合計
4月	10	50	60
5月	7	69	76
6月	13	101	114
7月	8	116	124
8月	7	101	108
9月	14	106	120
10月	12	108	120
11月	7	104	111
12月	9	104	113
1月	6	98	104
2月	7	89	96
3月	10	100	110
合計	110	1,146	1,256



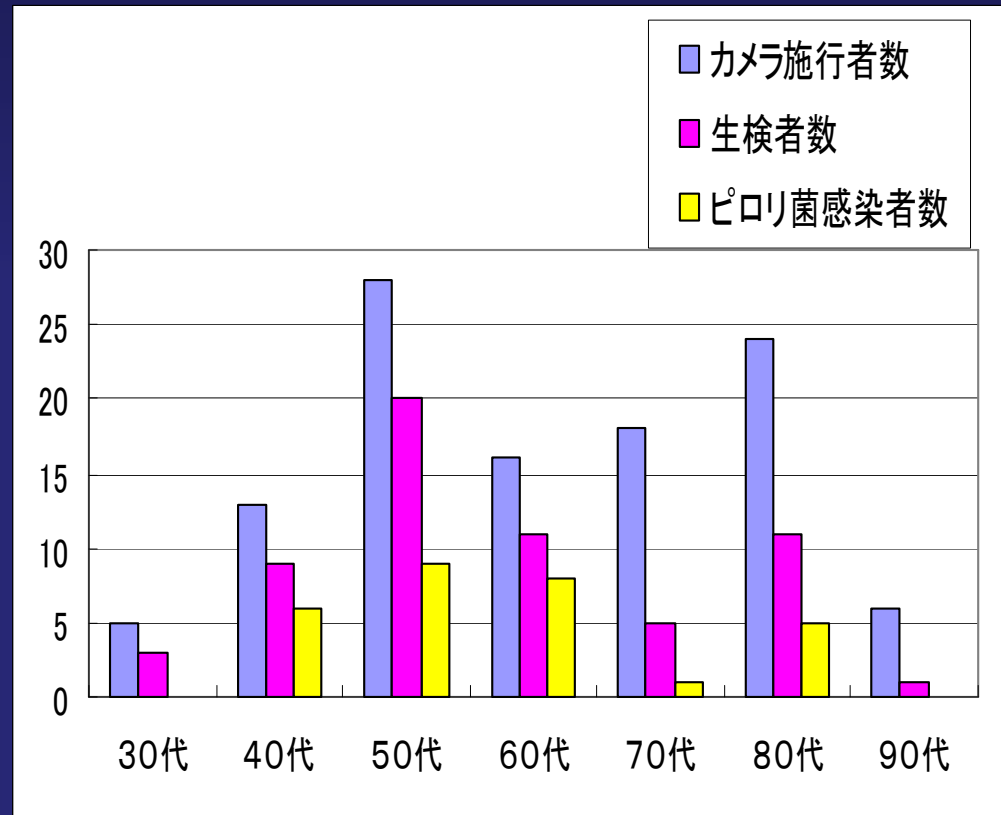
生検施行者のピロリ菌感染者数

	外来	メドック	合計
生検者数	60	193	253
ピロリ菌感染者	29	114	143
割合	48%	59%	56%



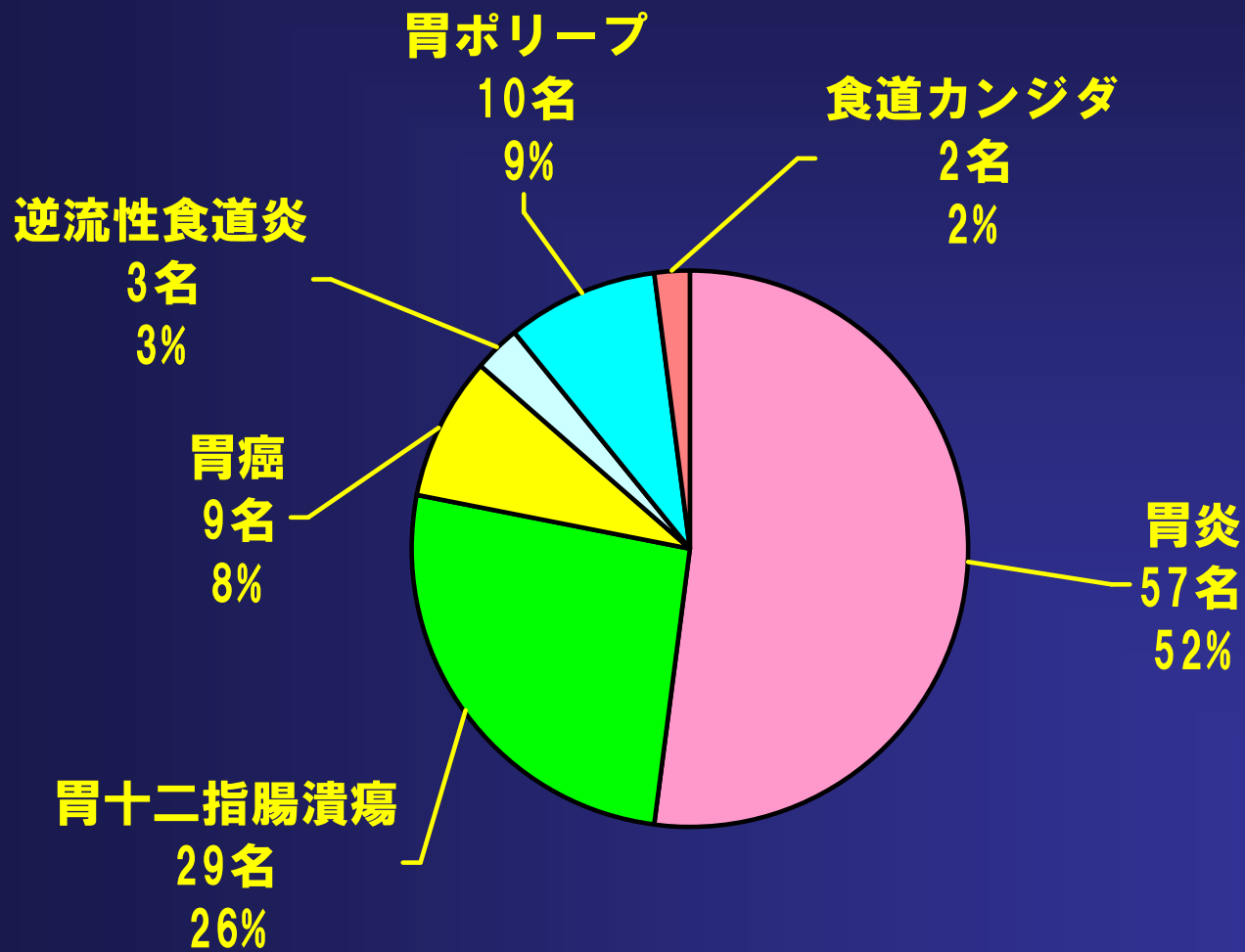
年齢別GIF施行者数 ピロリ菌感染者数

	検査件数	生検者数	ピロリ菌 感染者数
30代	5	3	0
40代	13	9	6
50代	28	20	9
60代	16	11	8
70代	18	5	1
80代	24	11	5
90代	6	1	0
合計	110	60	29



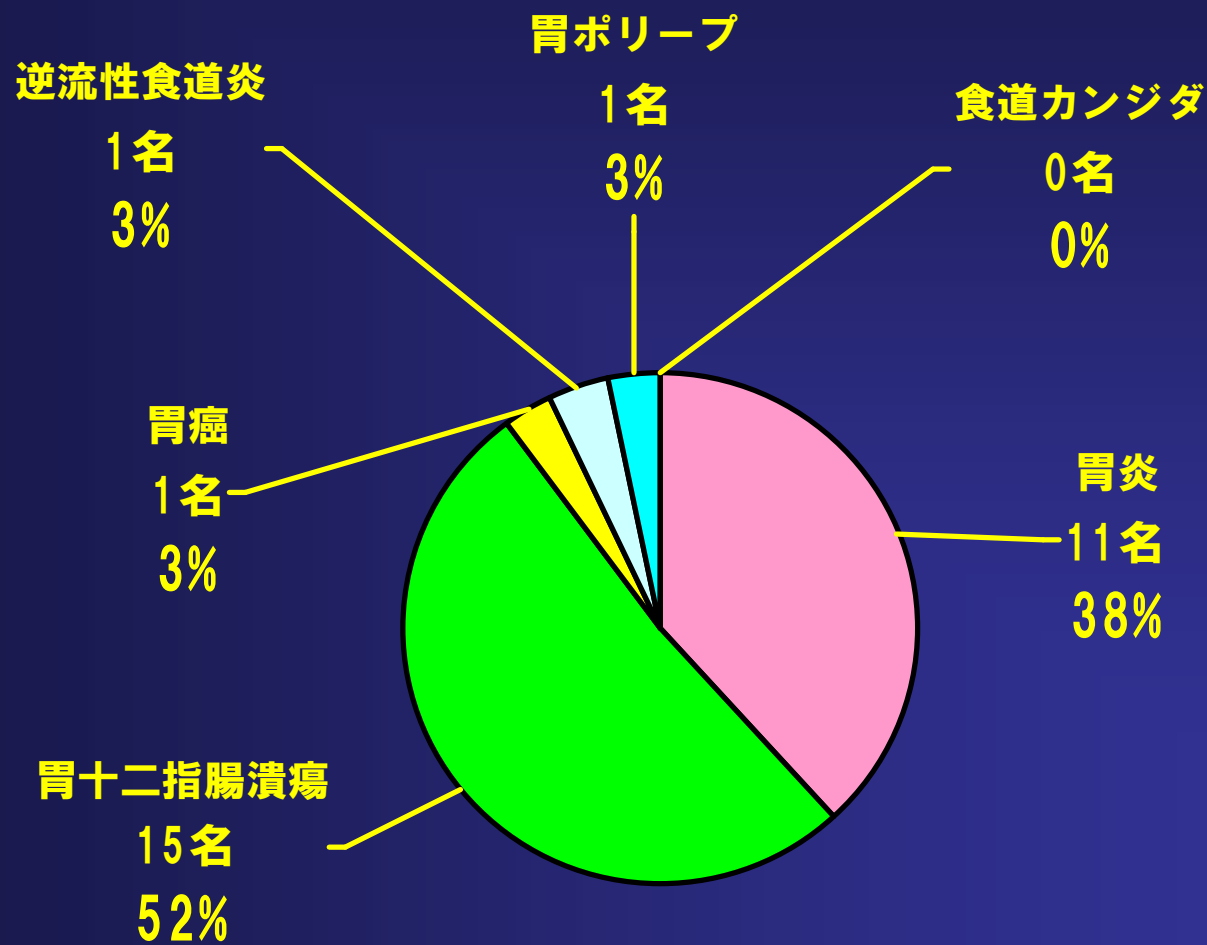
G I F の疾患別分類

110名



ピロリ菌感染者の疾患別分類

29名中



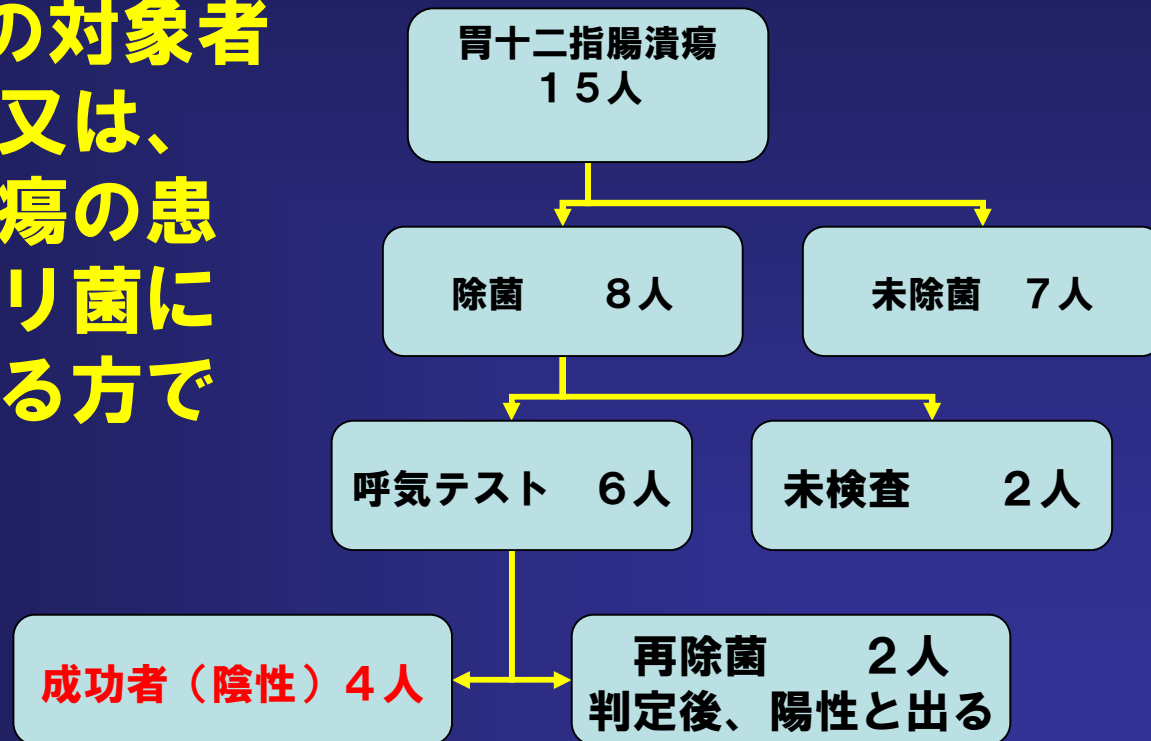
- **胃の粘膜にピロリ菌が住み着くと、その菌が分泌する毒素により炎症を起こし、これが繰り返されると慢性潰瘍となる。**
- **現在、胃十二指腸潰瘍でピロリ菌感染者は除菌することによって、大部分の再発が抑制される。**

除菌療法について

- ピロリ菌の除菌療法とは、2種類の「抗生物質」と「胃酸の分泌を抑える薬」の合計3剤を同時に1日2回、7日間服用する治療法です。
- すべての治療が終了した後、4週間以上経過してから、ピロリ菌が除菌できたかどうか、もう一度検査します、それは呼気テストで行います。

胃・十二指腸潰瘍患者の ピロリ菌除菌療法の結果

除菌療法の対象者は、胃潰瘍又は、十二指腸潰瘍の患者様でピロリ菌に感染している方です。



考察

- 今回の調査結果で胃、十二指腸潰瘍患者のピロリ菌感染率は52%であった。
- 除菌療法での成功率は50%であった。
- 検査後の説明不足により効果のある治療につなげられなかった。

外来看護師は短時間で情報収集を行い個々の患者への必要な指導、援助を提供していかなければならない。そのためには、医師との連携をとり、クリニカルパスを導入し指導の統一化を図ることが必要と思われる。